

令和4年度における重点的な取組課題について

1 一人ひとりの状況に応じた支援体制の充実について

子ども一人ひとりの状況や教育的ニーズを踏まえた教育を推進するにあたっては、教員の専門性の向上を図るとともに、特別な支援等を必要とする子どもたちをサポートする体制の充実が求められている。

また、GIGAスクール構想の実現に向けては、教員のICTを活用した指導力の向上を図る研修等の充実に努めるとともに、子どもの学習活動を支援したり、教員の授業をサポートをする人材の確保が必要である。

【目標1】志を持ち「徳・知・体」の調和がとれた子どもをはぐくむ教育の充実

施策の方向性2 確かな学力の育成

施策の方向性4 今日的な課題に対応した教育の充実

施策の方向性5 教育の質を高める体制の充実

2 新たな学校安全のあり方について

地域の子どもは地域で守るという観点から、各地域において多岐にわたる様々な努力がなされてきたが、これまで地域の安全に大きく貢献してきた学校安全ボランティアが高齢化してきている。

一方、通学路での交通事故や不審者からの声かけ、熊出没等の事案が起きており、地域における連携を再構築し、多様な担い手による見守りの活性化が必要となっている。

本市では、全ての小・中学校にコミュニティ・スクールを導入しており、学校と保護者、地域の方々と連携し、地域の実情に応じた安全対策等について小・中学校ごとに実践していきたい。

【目標1】志を持ち「徳・知・体」の調和がとれた子どもをはぐくむ教育の充実

施策の方向性5 教育の質を高める体制の充実

【目標3】将来にわたり安全安心で快適な教育環境の整備

施策の方向性2 安全安心な教育環境の整備